

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成28年11月14日
【四半期会計期間】	第39期第2四半期（自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日）
【会社名】	株式会社アミューズ
【英訳名】	AMUSE INC.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 畠中 達郎
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区桜丘町20番1号
【電話番号】	(03)5457-3333
【事務連絡者氏名】	代表取締役専務取締役 齊藤 泰幸
【最寄りの連絡場所】	東京都渋谷区桜丘町20番1号
【電話番号】	(03)5457-3333
【事務連絡者氏名】	代表取締役専務取締役 齊藤 泰幸
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次		第38期 第2四半期連結 累計期間	第39期 第2四半期連結 累計期間	第38期
会計期間		自平成27年4月1日 至平成27年9月30日	自平成28年4月1日 至平成28年9月30日	自平成27年4月1日 至平成28年3月31日
営業収入	(千円)	30,579,942	23,859,292	48,924,282
経常利益	(千円)	5,176,467	2,207,917	5,855,886
親会社株主に帰属する四半期(当期) 純利益	(千円)	3,325,659	1,211,283	3,543,661
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	3,445,705	1,059,344	3,487,323
純資産額	(千円)	24,315,834	24,833,994	24,223,995
総資産額	(千円)	38,835,906	36,716,698	35,848,167
1株当たり四半期(当期)純利益 金額	(円)	192.66	70.18	205.29
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額	(円)	-	-	-
自己資本比率	(%)	57.4	62.2	62.2
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	9,419,973	440,563	8,252,042
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	2,248,967	1,293,086	2,718,477
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	239,248	521,778	403,067
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高	(千円)	18,406,172	15,649,643	16,598,135

回次		第38期 第2四半期連結 会計期間	第39期 第2四半期連結 会計期間
会計期間		自平成27年7月1日 至平成27年9月30日	自平成28年7月1日 至平成28年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	89.93	35.22

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 営業収入には消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第1四半期連結会計期間において株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。
5. 当第2四半期連結累計期間及び当第2四半期連結会計期間の1株当たり四半期純利益金額の算定において、「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」が保有する当社株式を自己株式として処理していることから、期中平均株式数から当該株式数を控除しております。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動は以下のとおりであります。

(アーティストマネジメント事業)

雅慕斯娛樂股份有限公司(台湾)、Amuse Hong Kong Limited(香港)及び艾米斯(上海)有限公司(中国)の3社は、重要性が増したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

また、AmuseLantis Europe S.A.S.(フランス)は、新たに設立したため、(株)FRIENDS、(株)COMITA S、(株)arounds及び(株)TRANSPPLUSの4社は、当社連結子会社の(株)希船工房が新たに株式取得したため、第1四半期連結会計期間より連結範囲に含めております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）業績の状況

（当第2四半期連結累計期間の経営成績）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）	増減	増減率 （％）
営 業 収 入	30,579	23,859	6,720	22.0
営 業 利 益	5,147	2,389	2,757	53.6
経 常 利 益	5,176	2,207	2,968	57.3
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,325	1,211	2,114	63.6

〔経済状況〕

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、政府の経済政策を背景に雇用や所得環境の改善傾向が続くなど緩やかな回復基調となりましたが、英国のEU離脱問題、中国をはじめ新興国や資源国等の景気下振れ懸念など、依然先行きへの不透明感が継続しております。

〔当社グループの事業概況〕

当社グループの経営成績は営業収入238億5千9百万円（前年同四半期比22.0%減）、営業利益23億8千9百万円（前年同四半期比53.6%減）、経常利益22億7百万円（前年同四半期比57.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益12億1千1百万円（前年同四半期比63.6%減）となり、主要アーティストが積極的に活動した前年同四半期に比べ、大型コンサートツアーの減少、それに伴うコンサートグッズ販売も減少し減収減益となりました。

<営業収入>

- ・ イベント収入（大型コンサートツアー）が減少
- ・ 商品売上収入（コンサートグッズ、音楽パッケージ）が減少
上記要因などにより減収となりました。

<営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益>

減収要因により減益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（営業収入）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）	増減	増減率 （％）
アーティストマネジメント事業	26,289	20,361	5,927	22.5
メディアビジュアル事業	1,381	609	772	55.9
コンテンツ事業	1,292	1,703	410	31.7
プレイスマネジメント事業	1,616	1,184	431	26.7
合 計	30,579	23,859	6,720	22.0

(セグメント利益又は損失())

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	増減	増減率 (%)
アーティストマネジメント事業	5,058	2,796	2,261	44.7
メディアビジュアル事業	143	80	224	-
コンテンツ事業	498	730	232	46.6
プレイスマネジメント事業	67	553	486	-
調整額	485	503	17	-
合計	5,147	2,389	2,757	53.6

【アーティストマネジメント事業】

営業収入203億6千1百万円(前年同四半期比22.5%減)、セグメント利益27億9千6百万円(前年同四半期比44.7%減)となり、減収減益となりました。

【主な事業】

- ・ イベント収入: <コンサート>
Perfume(5-9月)、SEKAI NO OWARI(4-6月)
flumpool(4-6月)のコンサートツアー
BABYMETALのウエブリー公演(4月)・東京ドーム公演(9月)
ポルノグラフィティの横浜スタジアムライブ(9月)
ONE OK ROCKの野外ライブ(9月)
福山雅治のファンクラブイベント東京ドーム公演(9月)
<舞台・公演>
熱海五郎一座「ヒミツの仲居と曲者たち」(6月)
ブロードウェイミュージカル「キンキーブーツ」日本版(7-9月)
- ・ 商品売上収入: コンサートグッズ、BABYMETAL(アルバムCD)、
ONE OK ROCK(ライブDVD)
- ・ 印税収入(新譜): サザンオールスターズ(ライブDVD)、Perfume(ライブDVD)
- ・ 出演収入・CM収入: 桑田佳祐、福山雅治、大泉洋、佐藤健、DEAN FUJIOKAなど

<営業収入>

- ・ イベント収入(大型コンサートツアー)が減少
(前年同四半期はサザンオールスターズ(4-8月)、ONE OK ROCK(5-9月)のコンサートツアー、SEKAI NO OWARIスタジアムライブ(7月)、福山雅治のスタジアムライブ(8月)、熱海五郎一座(6月)、TEAM NACS(7-9月)などの舞台を実施)
- ・ 商品売上収入(コンサートグッズ、音楽パッケージ)が減少
(前年同四半期はコンサートグッズ、福山雅治アルバムCD、ONE OK ROCKライブDVDなど)
上記要因などにより減収となりました。

<セグメント利益>

減収要因により減益となりました。

〔メディアビジュアル事業〕

営業収入 6 億 9 百万円（前年同四半期比55.9%減）、セグメント損失 8 千万円（前年同四半期は 1 億 4 千 3 百万円のセグメント利益）となり、減収減益となりました。

〔主な事業〕

- ・ 映像作品販売収入：TEAM NACS 舞台「悪童」などのDVD 販売収入
- ・ 映像製作収入：佐藤健・神木隆之介主演映画「バクマン。」劇場配給分配収入、DVD 販売分配収入、
深津絵里主演映画「岸辺の旅」劇場配給分配収入、
安田顕主演映画「俳優 亀岡拓次」劇場配給分配収入、
佐藤健主演映画「世界から猫が消えたなら」劇場配給分配収入

<営業収入>

- ・ 新規大型作品の減少
（前年同四半期は「美女と野獣」のDVD 販売収入、劇場配給分配収入、「るろうに剣心 京都大火編 / 伝説の最期編」の劇場配給分配収入、DVD 販売分配収入など）
上記要因などにより減収となりました。

<セグメント利益>

減収要因により減益となりました。

〔コンテンツ事業〕

営業収入17億 3 百万円（前年同四半期比31.7%増）、セグメント利益 7 億 3 千万円（前年同四半期比46.6%増）となり、増収増益となりました。

〔主な事業〕

- ・ サザンオールスターズ、福山雅治、BEGIN、ポルノグラフィティ、Perfume、ONE OK ROCK などによる旧譜楽曲の販売及び旧譜楽曲の二次使用

<営業収入>

原盤印税の増加などにより増収となりました。

<セグメント利益>

増収要因により増益となりました。

〔プレイスマネージメント事業〕

営業収入11億 8 千 4 百万円（前年同四半期比26.7%減）、セグメント損失 5 億 5 千 3 百万円（前年同四半期は 6 千 7 百万円のセグメント損失）となり、減収減益となりました。

〔主な事業〕

- ・ 東京ワンピースタワー、アミューズミュージアムの入場料収入、グッズ販売収入
- ・ MILLIAN の入場料収入、会場使用料収入
- ・ ベルギービール等の飲食店収入

<営業収入>

東京ワンピースタワーの入場料収入が低調であったため減収となりました。

<セグメント利益>

減収要因により減益となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ9億4千8百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には156億4千9百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は下記のとおりであります。

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,419	440	8,979
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,248	1,293	955
財務活動によるキャッシュ・フロー	239	521	282

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は4億4千万円（前年同四半期は94億1千9百万円の獲得）となりました。

これは、主に営業債権の増加及び法人税等の支払による資金減少要因はありましたが、税金等調整前四半期純利益及び営業債務の増加に伴う資金増加要因が上回ったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は12億9千3百万円（前年同四半期は22億4千8百万円の使用）となりました。

これは、主に定期預金の預入及び連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による資金減少要因によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は5億2千1百万円（前年同四半期は2億3千9百万円の使用）となりました。

これは、主に配当金の支払による資金減少要因によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	74,494,080
計	74,494,080

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成28年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成28年11月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	18,623,520	18,623,520	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	18,623,520	18,623,520	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成28年7月1日～ 平成28年9月30日	-	18,623,520	-	1,587,825	-	1,694,890

(6)【大株主の状況】

平成28年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
株式会社オオサト	東京都世田谷区下馬4丁目22番2号	4,670.20	25.08
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8番11号	853.60	4.58
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	472.30	2.54
大里 洋吉	東京都世田谷区	451.06	2.42
大里 久仁子	東京都世田谷区	437.22	2.35
アミューズアーティスト持株会	東京都渋谷区桜丘町20番1号	426.64	2.29
MSCO CUSTOMER SECURITIES (常任代理人 モルガン・スタン レーMUF G証券株式会社)	1585 Broadway New York, New York 10036, U.S.A. (東京都千代田区大手町1丁目9番7号)	299.40	1.61
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2丁目7番1号	259.20	1.39
カルチュア・コンビニエンス・ クラブ株式会社	大阪府大阪市北区梅田2丁目5番25号	237.60	1.28
東宝株式会社	東京都千代田区有楽町1丁目2番2号	184.80	0.99
計	-	8,292.02	44.52

- (注) 1. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)、日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)の所有株式数のうち信託業務に係る株式数は、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)853.60千株、日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)472.30千株であります。
2. 上記のほか、自己株式が1,063.00千株あります。

(7)【議決権の状況】
【発行済株式】

平成28年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,063,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 17,308,900	173,089	-
単元未満株式	普通株式 251,620	-	-
発行済株式総数	18,623,520	-	-
総株主の議決権	-	173,089	-

(注) 1. 「完全議決権株式(その他)」の「株式数」欄には、証券保管振替機構名義の株式が400株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数4個が含まれております。

2. 「完全議決権株式(その他)」の欄の普通株式には、「役員報酬BIP信託」が保有する当社株式150,000株(議決権数1,500個)及び「株式付与ESOP信託」が保有する当社株式150,000株(議決権数1,500個)が含まれております。

【自己株式等】

平成28年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社アミューズ (自己保有株式)	東京都渋谷区桜丘町 20番1号	1,063,000	-	1,063,000	5.71
計	-	1,063,000	-	1,063,000	5.71

(注) 「役員報酬BIP信託」が保有する当社株式150,000株及び「株式付与ESOP信託」が保有する当社株式150,000株は、上記自己株式に含めておりません。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成28年7月1日から平成28年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,718,958	18,212,697
受取手形及び営業未収入金	4,255,930	6,040,327
商品及び製品	1,523,027	1,785,789
仕掛品	1,526,080	1,517,283
貯蔵品	70,085	78,801
その他	1,453,560	1,363,977
貸倒引当金	211,203	225,038
流動資産合計	26,336,438	28,773,838
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,036,707	1,928,645
土地	1,486,752	1,452,484
その他（純額）	940,485	915,252
有形固定資産合計	4,463,945	4,296,382
無形固定資産		
のれん	278,901	591,690
その他	216,165	227,703
無形固定資産合計	495,066	819,394
投資その他の資産		
投資有価証券	1,332,625	896,200
その他	3,187,947	1,923,166
貸倒引当金	104,900	104,852
投資その他の資産合計	4,415,672	2,714,514
固定資産合計	9,374,684	7,830,290
繰延資産		
開業費	137,044	112,569
繰延資産合計	137,044	112,569
資産合計	35,848,167	36,716,698

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	6,256,956	8,847,024
未払法人税等	2,299,368	884,304
役員賞与引当金	46,500	-
返品調整引当金	8,000	3,700
ポイント引当金	23,752	12,567
その他	1,957,840	1,085,512
流動負債合計	10,592,418	10,833,108
固定負債		
役員退職慰労引当金	16,308	16,308
退職給付に係る負債	970,581	959,476
その他	44,863	73,808
固定負債合計	1,031,753	1,049,594
負債合計	11,624,171	11,882,703
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,587,825	1,587,825
資本剰余金	1,694,950	2,109,793
利益剰余金	19,932,496	20,586,874
自己株式	934,917	1,320,101
株主資本合計	22,280,353	22,964,391
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,664	32,145
為替換算調整勘定	7,446	168,322
その他の包括利益累計額合計	19,217	136,177
非支配株主持分	1,924,424	2,005,780
純資産合計	24,223,995	24,833,994
負債純資産合計	35,848,167	36,716,698

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業収入	30,579,942	23,859,292
営業原価	23,289,291	18,656,466
営業総利益	7,290,650	5,202,825
返品調整引当金戻入額	11,600	4,300
差引営業総利益	7,302,250	5,207,125
販売費及び一般管理費	2,154,989	2,817,753
営業利益	5,147,261	2,389,371
営業外収益		
受取利息	5,156	1,339
受取配当金	6,242	5,447
受取手数料	8,237	5,998
持分法による投資利益	77,397	2,060
その他	14,893	25,331
営業外収益合計	111,927	40,176
営業外費用		
為替差損	81,998	170,292
事業組合投資損失	174	37,429
その他	548	13,909
営業外費用合計	82,721	221,631
経常利益	5,176,467	2,207,917
税金等調整前四半期純利益	5,176,467	2,207,917
法人税、住民税及び事業税	1,789,817	841,575
法人税等調整額	48,770	140,314
法人税等合計	1,741,047	981,890
四半期純利益	3,435,420	1,226,027
非支配株主に帰属する四半期純利益	109,760	14,744
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,325,659	1,211,283

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	3,435,420	1,226,027
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,905	5,481
為替換算調整勘定	17,190	172,163
その他の包括利益合計	10,284	166,682
四半期包括利益	3,445,705	1,059,344
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,335,944	1,055,888
非支配株主に係る四半期包括利益	109,760	3,456

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,176,467	2,207,917
減価償却費	312,859	362,547
のれん償却額	14,208	89,884
貸倒引当金の増減額(は減少)	8,502	13,382
役員賞与引当金の増減額(は減少)	31,000	46,500
返品調整引当金の増減額(は減少)	11,600	4,300
ポイント引当金の増減額(は減少)	15,183	11,185
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	42,454	10,846
受取利息及び受取配当金	11,398	6,787
持分法による投資損益(は益)	77,397	2,060
事業組合投資損益(は益)	174	37,429
営業債権の増減額(は増加)	924,200	1,454,345
たな卸資産の増減額(は増加)	666,846	136,882
営業債務の増減額(は減少)	5,022,090	2,499,261
未払消費税等の増減額(は減少)	93,932	244,168
その他の流動資産の増減額(は増加)	194,532	66,454
その他の流動負債の増減額(は減少)	45,636	641,108
その他	11,510	14,235
小計	9,175,083	2,704,458
利息及び配当金の受取額	9,590	2,135
法人税等の支払額	248,457	2,266,030
法人税等の還付額	483,757	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,419,973	440,563
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	2,000,468	500,002
定期預金の払戻による収入	1,000,000	51,487
有形固定資産の取得による支出	677,018	167,269
無形固定資産の取得による支出	63,958	74,874
投資有価証券の取得による支出	340	79,050
子会社株式の取得による支出	355,216	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	356,458	459,352
貸付けによる支出	1,173	22,348
貸付金の回収による収入	188,080	21,469
その他	17,584	63,145
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,248,967	1,293,086
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	-	150,000
長期借入金の返済による支出	-	108,630
自己株式の取得による支出	3,181	591,039
自己株式の売却による収入	-	590,856
非支配株主からの払込みによる収入	-	131,173
配当金の支払額	215,026	347,165
非支配株主への配当金の支払額	17,262	38,535
その他	3,779	8,438
財務活動によるキャッシュ・フロー	239,248	521,778
現金及び現金同等物に係る換算差額	14,193	143,282
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	6,917,564	1,517,584
現金及び現金同等物の期首残高	11,327,663	16,598,135
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	160,944	569,091
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,406,172	15,649,643

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、雅慕斯娛樂股份有限公司(台湾)、Amuse Hong Kong Limited(香港)及び艾米斯[5]媒(上海)有限公司(中国)の3社は重要性が増したため、AmuseLantis Europe S.A.S.(フランス)は新規設立したため、(株)FRIENDS、(株)COMITAS、(株)arounds及び(株)TRANSPLUSの4社は新たに株式取得したため連結の範囲に含めております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
退職給付費用	10,306千円	17,873千円
貸倒引当金繰入額	8,502	12,119
ポイント引当金繰入額	15,183	11,185

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
現金及び預金勘定	20,435,416千円	18,212,697千円
預入期間が3ヶ月を超える 定期預金	2,029,243	2,557,134
信託別段預金	-	5,920
現金及び現金同等物	18,406,172	15,649,643

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年6月28日 定時株主総会	普通株式	215,787	25.0	平成27年3月31日	平成27年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間
末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年11月13日 取締役会	普通株式	172,614	20.0	平成27年9月30日	平成27年12月4日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年6月26日 定時株主総会	普通株式	345,212	40.0	平成28年3月31日	平成28年6月27日	利益剰余金

(注) 1株当たり配当額の内訳 普通配当 20.0円 特別配当 20.0円

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間
末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年11月14日 取締役会	普通株式	219,506	12.5	平成28年9月30日	平成28年12月2日	利益剰余金

(注) 配当金の総額には、「役員報酬BIP信託」が保有する当社株式150,000株及び「株式付与ESOP信託」が保有する当社株式150,000株に対する配当金3,750千円が含まれております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	アーティスト マネージメント 事業	メディア ビジュアル 事業	コンテンツ 事業	プレイス マネージメント 事業	計		
営業収入							
外部顧客への 営業収入	26,289,170	1,381,195	1,292,973	1,616,602	30,579,942	-	30,579,942
セグメント間 の内部営業収 入又は振替高	39,130	107,995	109,359	31,752	288,238	288,238	-
計	26,328,301	1,489,190	1,402,333	1,648,355	30,868,180	288,238	30,579,942
セグメント利益 又は損失()	5,058,608	143,975	498,207	67,540	5,633,249	485,988	5,147,261

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額 485,988千円には、セグメント間取引消去5,129千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 491,118千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「アーティストマネージメント事業」において、CROONER PTE. LTD.の株式を取得したことによりのれんが発生しております。当該事象によるのれんの発生額は、347,937千円であります。

当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	アーティスト マネージメント 事業	メディア ビジュアル 事業	コンテンツ 事業	プレイス マネージメント 事業	計		
営業収入							
外部顧客への 営業収入	20,361,925	609,088	1,703,393	1,184,884	23,859,292	-	23,859,292
セグメント間 の内部営業収 入又は振替高	59,567	148,908	203,286	30,659	442,422	442,422	-
計	20,421,492	757,997	1,906,680	1,215,544	24,301,715	442,422	23,859,292
セグメント利益 又は損失()	2,796,878	80,157	730,213	553,646	2,893,288	503,916	2,389,371

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額 503,916千円には、セグメント間取引消去5,363千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 509,279千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	192円66銭	70円18銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	3,325,659	1,211,283
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	3,325,659	1,211,283
普通株式の期中平均株式数(株)	17,261,962	17,260,530

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 当社は、平成28年4月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。
3. 株主資本において自己株式として計上されている「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」が保有する当社株式は、「1株当たり四半期純利益金額」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成28年11月14日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額.....219,506千円

(ロ) 1株当たりの金額.....12円50銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成28年12月2日

(注) 1. 平成28年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払を行います。

2. 配当金の総額には、「役員報酬BIP信託」が保有する当社株式150,000株及び「株式付与ESOP信託」が保有する当社株式150,000株に対する配当金3,750千円が含まれております。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成28年11月14日

株式会社アミューズ

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 久保 英治 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 石田 大輔 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アミューズの平成28年4月1日から平成29年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成28年7月1日から平成28年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アミューズ及び連結子会社の平成28年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。